

四谷の

千枚田だより



第250号

国會議員新城市管内視察

六月十六日(日)、進藤金日子(かねひこ)参議院議員が新城市管内を視察された。

来訪までの経緯及び目的

【現在 中山間地域である新城市地区においては鳥獣被害、後継者不足による営農者の高齢化、用排水路を初めとする土地改良施設の老朽化、耕作放棄地の拡大など様々な課題を抱えている。これらの状況を視察いただき、更なる国の支援を要望することが必要である。】

一月二十一日(日)、宮崎雅夫参議院議員が新城市管内を視察された。折り、関係各団体からの要望書(①土地改良事業関係 ②林業関係 ③畜産業関係)を提出した。

四谷の千枚田の現地対応は小山(保存会)会長・内閣府 地域活性化伝道師)が「ふるさと水と土・ふれあい事業」で整備された施設も二十年を超し、老朽化が目立つことから再整備を口頭で要望した。

今回、進藤議員の管内視察は宮崎議員に要望した各地の実態把握のためでもあり、先生は柵田振興議員連盟(事務局長代理)農村基盤整備議員連盟、全国山村振興連盟など農林水産関係はもとより地域振興等約百六十四議員連盟に所属し、政策の立案と様々な活動を展開しております。先生は現場主義を第一に



拓くをモットーに励んでおられます。先生は元農林水産省職員で、中山間地域振興課長時には「中山間地域等直接支払制度」などにも携われ、国會議員になってからは豊かな知識、知見を基に「柵田地域振興法・つなぐ柵田遺産」の立法化、成立にご尽力いただいた。私も、江藤元農林水産大臣からの依頼で百姓の立場としての助言者としての関わり合いがあった。その経緯を随行

「土地改良」、「農山漁村」、「食」は日本の命綱との強い思いを胸に我が国の明るい未来を切り

の並みいるお偉いさん方(写真左から進藤先生、小山、小久保豊川総合用水土地改良区理事長、下江新城市市長、中根水士里ネット専務理事、星川東海農政局参事官を前に柵田地域振興法は五年の時限立法で、本年が最終年度になり、中山間地域等直接支払制度も含め、是非ともより良い見直しをかけての継続をお願いしたい。と、両者ともに熱を帯びた話題に集中、随行の担当者から腕の時計を指さし、催促されるほどで、先生とは何回も何回も握手を交わすなど、有意義な対応ができたことを確信した。

本題の施設再整備については愛知県新城設農林水産事務所建設課小松本課長と小山から要望した。

絵画コンクール作品募集

第七回「四谷の千枚田」絵画コンクール(主催 鞍掛山麓千枚田保存会・東三河郵便局 後援 新城市、新城市教育委員会、新城市観光協会、奥三河観光協議会、東愛知新聞社)で実施します。応募対象は小学生・中学生。受付期間は八月一日〜九月三十日。入賞者には本年度新米・図書券・五平餅セット他多数。問い合わせはNPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク <http://kokukome.com/> 0532-29-0808

チラシ・応募ハガキは東三河管内郵便局、千枚田案内看板、新城市鳳来寺山自然科学博物館、奥三河観光協議会、八雲だんご直売店ほか

愛知県新城市 「四谷の千枚田」

第7回 2024 絵画コンクール 作品募集

応募してね!

受付期間 8/1 ~ 9/30

テーマ 「四谷の千枚田」 四谷の千枚田の「自然」や「農作業風景」、「体験学習」など、自由に描いてください

応募対象 小学生・中学生

応募方法 チラシと一緒に配布される専用ハガキでご応募ください
①東三河郵便局店舗 ②新城市マール来寺山自然科学博物館内 ③四谷の千枚田案内看板前 ④八雲だんご直売店他にも置いてあります

審査 10月中旬以降に鞍掛山麓千枚田保存会、東三河郵便局が応募者の中から入賞者を選出、NPO 国内米ネットホームページ上で発表

主催 鞍掛山麓千枚田保存会、東三河郵便局

後援 新城市、新城市教育委員会、新城市観光協会、奥三河観光協議会、東愛知新聞社

入賞商品 当 NPO 法人ホームページに記載
本年度新米・図書券・五平餅セット他多数
応募いただいた全ての作品は返却いたしません。また、受賞作品に限らず、全ての作品の使用権は、主催者に帰属する事といたします。主催者と協賛社が作成する山原物広告媒体、ホームページ等に作品と学校名・学年及び氏名を無償で使用させていただきますのであらかじめご了承ください。

NPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク
☎0532-29-0808 (株)丸八製菓内
(当 NPO 法人ホームページ : <http://kokukome.com/>)

四谷の千枚田の四季おりおりの風景を掲載しておりますので QR コードからご覧ください。

棚田の生きもの観察会

六月十六日(日)、市立鳳来寺山自然科学博物館主催の「棚田の生きもの」観察会(講師:川瀬基弘先生(陸貝)・小山舜二(魚類・両生類・哺乳類)が二十八名の参加を得て四谷の千枚田で行われた。なお、生物多様性に富んだ観察地であることから市環境部の視察を兼ねた参加もあった。

四谷の千枚田に初めて訪れる参加者もあり、千枚田を真正面に展望できるベンチ付近で「鞍掛山(おんがき)の恩恵を受けた湧き水が全部の田んぼを潤している。日本三大石積棚田であること。幾何学模様に構築された棚田は見る目には素晴らしいが、これを耕し、守る百姓は大変な労苦を強いられている。」等々の概要説明を行った。



最初に川瀬先生から陸貝の採取方法の説明があり、田んぼ周辺の生きもの採取に熱中。続いて小山から二日前に産卵したモリアオガエルの卵塊を参加者に手で触らせ、モリアオガエルはカエルの中でも唯一樹上で産卵する日本固有種で、ゼリ

ー状の塊で卵が守られており、約十日でオタマジヤクシになる。雨が降るとゼリー状の塊が柔らかくなりオタマジヤクシがスルスルスルと水面に落ち、そこで待ち構えているアカハライモリなどの餌食になる。これが自然の摂理でもある。と、この一連の行動をイギリス国営放送(BBC)の依頼で長期撮影(出演)に協力。世界発信されたその動画をタブレットに収録したもので解説した。

また、「特別教科道徳」副読本愛知県版明るい心 四年の教科書「四谷の千枚田」に載ったモリアオガエルの南天に産卵した経緯、全六ページを西村学芸員に朗読して頂いた。採取された陸貝はマルタニシ、ヒラマキガイモドキ、ヒラマキミズマイマイ、カワニナ、サカマキガイ、ヒメモノアラガイ、ウエジマメシジミの七種。特にウエジマメシジミ(二ミリ)は新城市内ではほかに一例しか発見例がない種であった。

また、小沢ではナガレホトケドジョウも採取され、自然豊かな四谷の千枚田に参加者全員が感動した。

参加者のアンケート(抜粋)
○地元にある四谷の千枚田が世界的にも認められていることに驚きました。今まで見たことのない、気付き付いたことのないような小さくて珍しい生き物に気付き、出会うことができました。その環境を復活、維

持されている方々の努力を想像して感激しました。

○自然の中での体験を通して、新しい知識が増えるのはとても楽しいです。子どもにもこのような体験をさせてあげられる事が嬉しいです。またよろしく願います。

○モリアオガエルの産卵の動画はよかったです。なかなか見られないのでこういう方法も良いと思った。

生産活動

七月六日(土)、中山間地域等直接支払制度四谷集落協定(村雲伸一代表)の生産活動の一環として農道、水路、周辺里地の草刈り及び清掃を役員の指示に従って行った。



各地で猛暑日が記録された炎天下の生産活動

ツチアケビ

四谷の千枚田を囲む林地の彼方でツチアケビの開花を確認し

た。ただ、昨年とほぼ同じ場所での確認は珍しいことであった。
ツチアケビは、葉緑素を持たないラン科の腐生植物「菌従属栄養植物」で、葉は退化して光合成をする能力がなく、菌類と共生(寄生)することで栄養を得ている。ギンリョウソウもこの仲間になる。



花後の茎に真っ赤なアケビに似た実をつけることから「ツチアケビ」という。普通、ラン科の花は唇弁が向きを揃えて咲いているが、ツチアケビは、自分勝手な向きに花をつけるといふ、どこの世界にもいる、いっぼう変わり者で気まぐれで、個性豊かな植物でもあり、好きなタイプである。昨年はツチアケビの花がシカに食べられる被害も確認した。別名..「山の神の錫杖(ヤマノカミノシヤクジョウ)」

「錫杖は、遊行僧が携帯する杖。梵語ではカツカラ (Katsukara) といひ、有聲杖、鳴杖、智杖、徳杖、金錫ともいふ」

行 令和六年七月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二